

# エサやり防止 普及啓発用チラシ 作成例

(表面)

〇〇町内会からのお願い

## ハトにエサをあげないで

私はペットではありません  
ありません



エサをあげないで!

**なぜ、野生動物にエサをあげてはいけないの？**

エサやり	過度に個体数が増える 人に襲われる	被害発生	駆除
------	----------------------	------	----

野生動物は本来、自然の中で生活を営んでおり、自然界の食べ物が豊富な時期には個体数が増え、少ない時期には個体数が減ります。  
人が野生動物に、自然の中で得られる食べ物の量を超える食べ物を与えると、個体数を過剰に増やすこととなります。  
また、野生動物はエサをもらうと人に慣れてしまい、人間のすぐ近くで生活や集まりをするなど、人にとって様々な被害を発生させる原因にもなります。  
このような野生動物が増えて、人に対する被害を発生させた場合は、やむを得ず駆除されてしまいます。  
※エサやりによって、一箇所に多くの野生動物が集まると、動物間で病気が蔓延する原因となるので、野生動物にとっても、良いことではなりません。

〇〇町内会 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

必要に応じて、タイトルを記載してください。  
(PDF形式は、手書きで記載できるように空白にしています。)

写真やタイトル等を入れ替えると、その他の野生動物への啓発に利用することが可能です。

ご利用時には、必ず配布者名(町内会名、自治体名、マンション管理組合名、公園管理事務所名など)を明記してください。(PDF形式は、手書きで記載できるように空白にしています。)

(裏面)

このような被害が発生しています(被害の事例)

 <b>健康被害</b> 感染症・アレルギー ダニによる吸血	 <b>衛生被害</b> 糞の臭いや汚れ	 <b>騒音被害</b> 騒音(鳴き声)
--	---	---

被害を発生させた動物は、やむを得ず駆除されることがあります。

**無意識にカラスの餌付け行為を行っていませんか**

都会で生きているカラスは、栄養価の高い生ごみなどを食べているため栄養状態がよく、自然野で生きているカラスより繁殖成功率や生存率が高い傾向があります。そのことが、都会でカラスが増える原因となっています。カラスにとって、生ごみは一度で大量に入手できる栄養豊富で魅力的なエサです。ごみ集積所でカラス被害がある場合は、地域全体が協力し、ごみ集積所にカラス避けネットを設置するなどの対応を行いましょう。カラスのエサを住からなくすることが、カラスを寄せ付けない・カラスを遠ざかいたために、最も効果的な方法です。

**ベランダへ飛来するハトにお困りの場合は**

ハトは、ベランダに降りるときに、一目手すりにとまり安全を確認する習性があります。釣糸をベランダの手すりに張り、ハトが止まらないようにしましょう。釣糸は、鳥の重さで揺れないように、しっかり張ってください。また、ハトは餌がある場所を安全な場所と認識し、集まる習性があります。ベランダでハトの糞を見つけたら、こまめに清掃しましょう。

釣糸(フグス)は、3年~8年程度の丈夫なものがお勧めです。[20番前後のステンレスワイヤーでも代用できます。]支柱は、釘や釘を撃た本末などにより設置してください。

〇〇町内会 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

※地域の状況に合わせて、内容を変更して利用ください。